2019年台風19号による栃木県河川氾濫被害　その後の状況
宇都宮市・田川と栃木市・永野川について
調査日：田川：2019年10月26日　永野川：2019年11月5日・17日

川村　志満子（筑波大学生命環境系 研究員）

2019年10月12日-13日、台風19号による記録的豪雨により、栃木県内の河川でも氾濫による被害が発生した。
ひと月が経過して、行政がまとめた被害報告（文献1,2）によると、県内河川では、少なくとも68ヶ所以上で氾濫し、内訳は、決壊（10市町村13河川・26ヶ所）、溢水、越水、内水氾濫（10河川42ヶ所以上）だった。

今回の氾濫では、ハザードマップが整備されていない河川、そして、ハザードマップが整備されていても浸水想定範囲以外での氾濫があった。

図1　調査対象河川位置図「デジタル標高地形図関東栃木県2019年6月」（国土地理院）をもとに作成

この報告は、大河川ではなく、全国報道が少なかった栃木県内の中小河川流域の被害報告である。

対象河川は、宇都宮市・田川と栃木市・永野川（図1）である。
ともに利根川水系に属する。
宇都宮市・田川、栃木市・永野川ともに、2019年10月12日（土）、不特定の地域で氾濫が発生した。

田川は、宇都宮市のJR宇都宮駅前に流路をとり、宇都宮市中心部を流れる河川で、ハザードマップは整備されていたが、その範囲以外でも氾濫が発生した。
永野川はハザードマップは整備されていなかった。
両河川の氾濫は、ともに全国的な報道は少なく、氾濫の情報はSNS中に留まっている。

田川は、JR宇都宮駅近隣の繁華街で溢水した。
宇都宮市によれば（文献1）、
10月12日 19:15田川・姿川地区に避難勧告発令、
20:00宇都宮市内全域に避難勧告発令、
20:20同地域に避難指示（緊急）を発令した。
SNSでは、19時ころから氾濫の情報があがっていた。

永野川は、少なくとも決壊6ヶ所、溢水3ヶ所（文献2）が明確になっている。今後も栃木市により随時情報が公表されるものと予想される。
（11月25日現在、最新情報が更新されていた。）

参考文献　1.宇都宮市(2019),台風19号に係る被害について（第22報）　2. 栃木市ホームページ　https://www.city.tochigi.lg.jp/　アクセス日2019年11月8日

宇都宮市・田川

調査地域

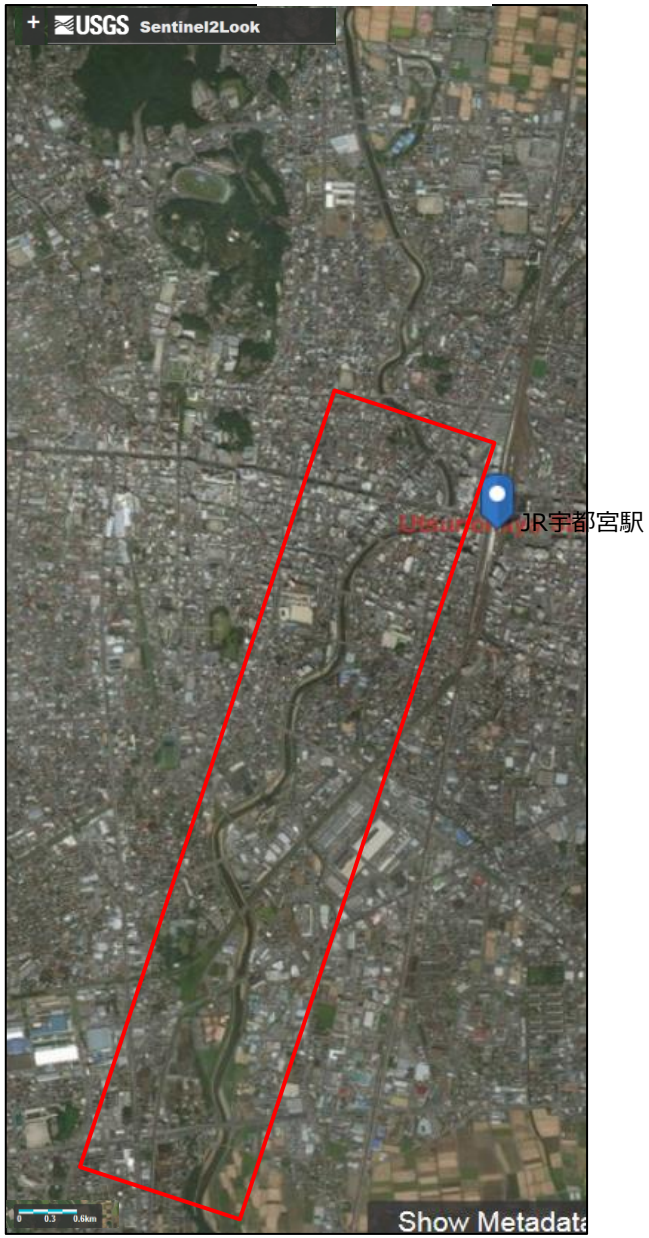


図2　田川宇都宮市中心部　出典：Sentinel2衛星画像（USGS）
https://landsatlook.usgs.gov/sentinel2/viewer.html

2019年10月12日 22:30氾濫発生情報発表
（大通り4丁目地内　溢水）（文献1）

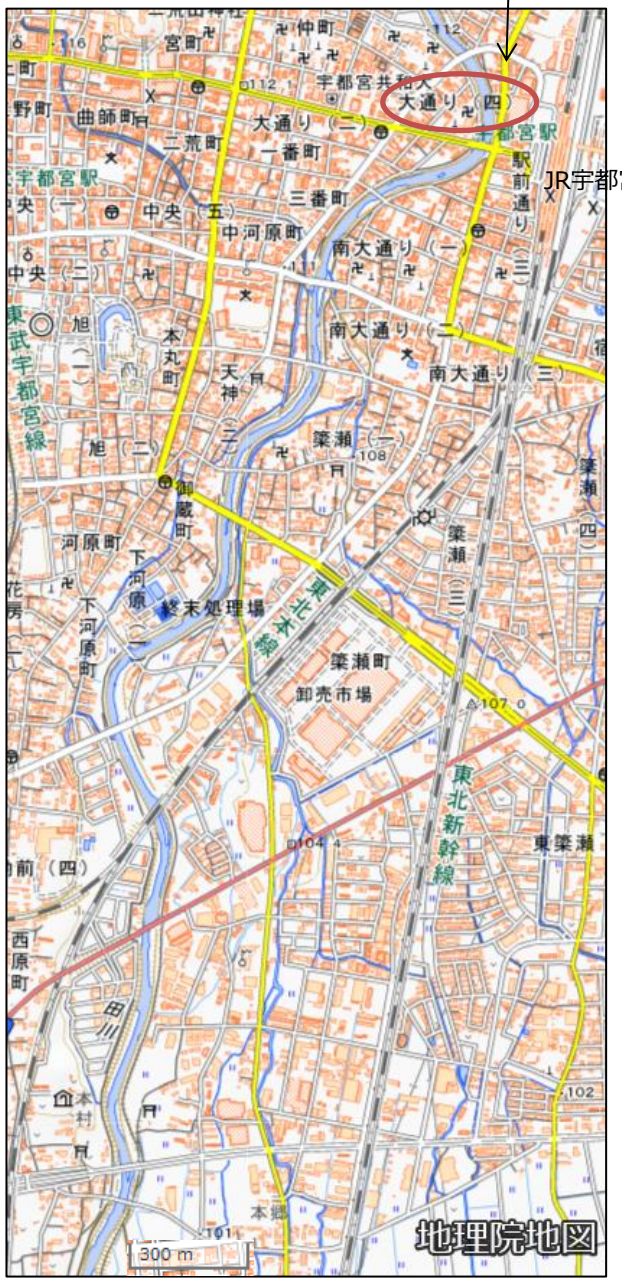


図3　田川調査地　出典：地理院地図（国土地理院）

宇都宮市・田川

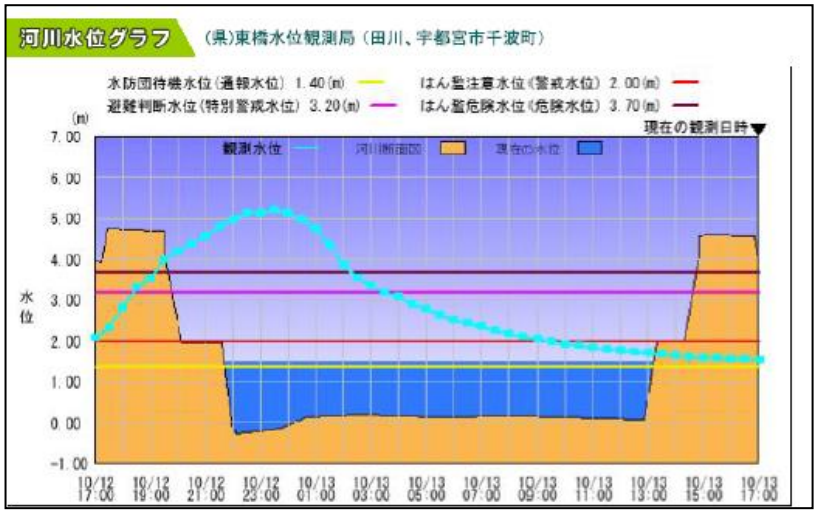


図5　田川の水位（10月12日-13日）

参考：栃木リアルタイム水位情報
http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/main.asp?screen=river&min_interval=60　アクセス日10月14日

通常水位1.5m以下
氾濫危険水位3.7m

12日 19：30の水位4m
最大水位12日23:30 5.24m

宇都宮市は、10月12日19:15田川・姿川地区に避難勧告発令、20:00宇都宮市内全域に避難勧告発令、20:20同地域に避難指示（緊急）を発令した（文献1）。

浸水は、主に、田川浸水想定地域図（図4）における赤色（5.0m－10.0m未満）区域で報告された。

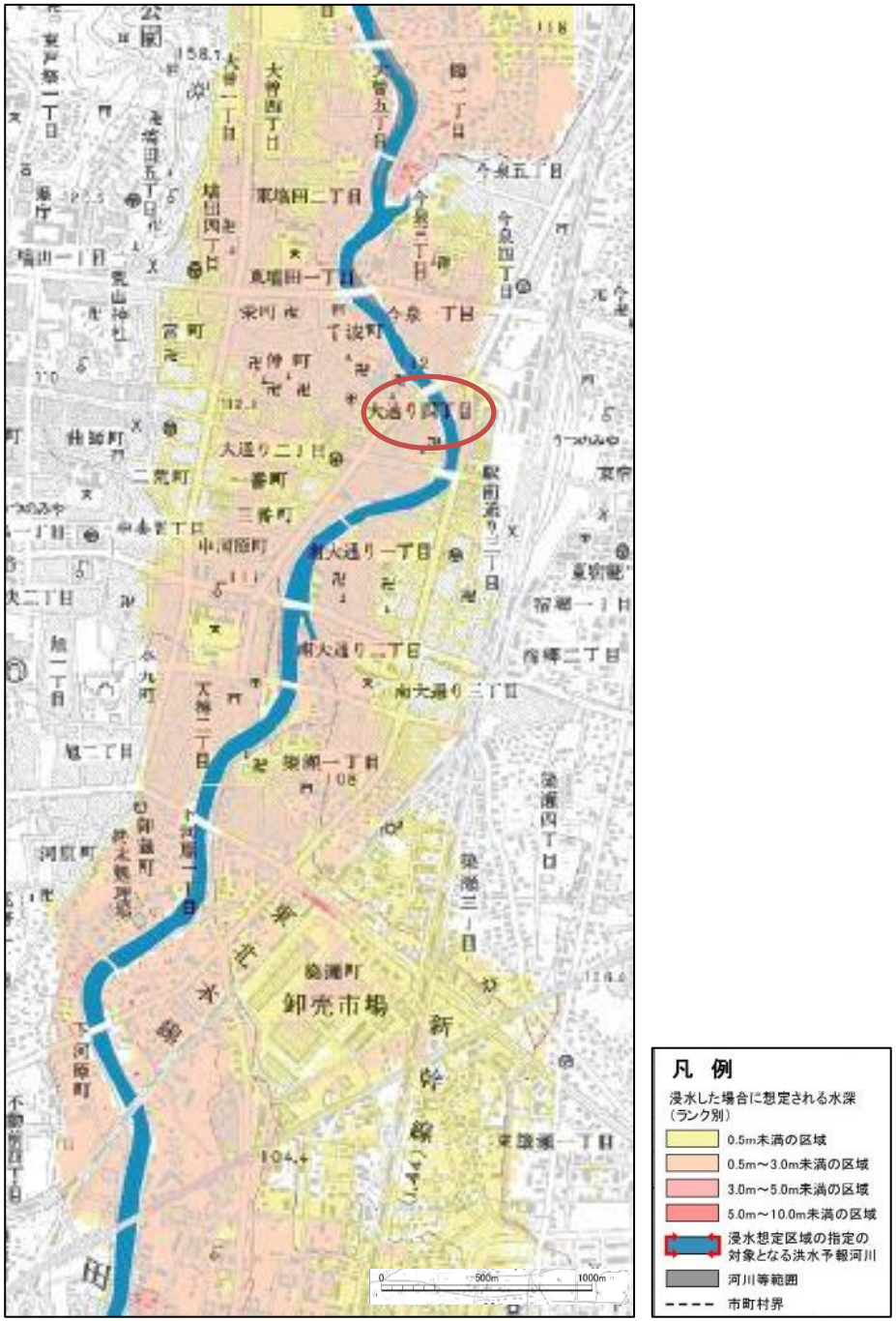


図4　田川浸水想定地域図　出典：田川浸水想定地域図（宇都宮市）
http://www.pref.tochigi.lg.jp/h06/town/kasen/kaishu/shinsuisoutei.html

宇都宮市・田川

宇都宮市は、10月13日2:20宇都宮市の大雨特別警報を解除した。13日夕方頃までに水は引き、宇都宮駅前通りは通行可能になった。4､5日で浸水した住宅の土砂が取り除かれた。2週間程度で通常の水位に戻った。下図は、2019年10月26日14時ころ筆者が撮影した写真である。

図5 氾濫発生情報が発令された大通り4丁目付近右岸。撮影日の水位は0.89m（リアルタイム水位情報による）。

図6 氾濫発生情報が発令された大通り4丁目付近左岸上部の歩道。土砂が残っていた。

図7 公園から田川に至る遊歩道が土砂と粗朶で埋没していた。

図8 右岸の手すりに残ったゴミ、粗朶が多かった。

出典：田川浸水想定地域図（宇都宮市）

図9 押切橋付近の田川の様子。

宇都宮市・田川

12日に川田大橋の下流にあった川田橋が落下した（図10）。
交通の主流ではなかったため、当時の混乱は少なかった。右岸の橋脚下部分が大きく削られていた。（筆者撮影：2019年10月26日15時ころ）

図10 田川・川田大橋下流の橋

出典：田川浸水想定地域図（宇都宮市）

図11　橋の位置　出典：田川浸水想定地域図（宇都宮市）
右下は拡大図

川田大橋上下の田川右岸は、浸水想定がされていない区域だった。

栃木市・永野川

調査地域

栃木市永野川上流部（星野町）－中流部（大平町）

決壊箇所（文献2）
星野町　星野橋上下：永野川右岸
星野町　牛落橋上下：永野川左右岸
鍋山町　新栗生橋下：永野川左岸
岩出町　大砂橋下：永野川右岸
薗部町　上人橋上：永野川左岸
片柳町　二杉橋下：永野川左右岸
大平町JR両毛線鉄橋上下：永野川右岸

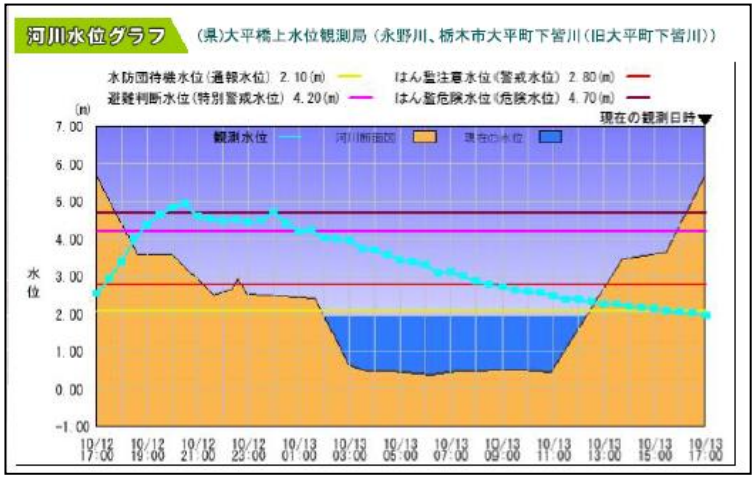


図12 永野川の水位（10月12日-13日）

参考：栃木リアルタイム水位情報
http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/main.asp?screen=river&min_interval=60　アクセス日10月14日

通常水位2m以下
氾濫危険水位4.7m

12日19：30の水位4.66m
最大水位13日00:00 4.75m

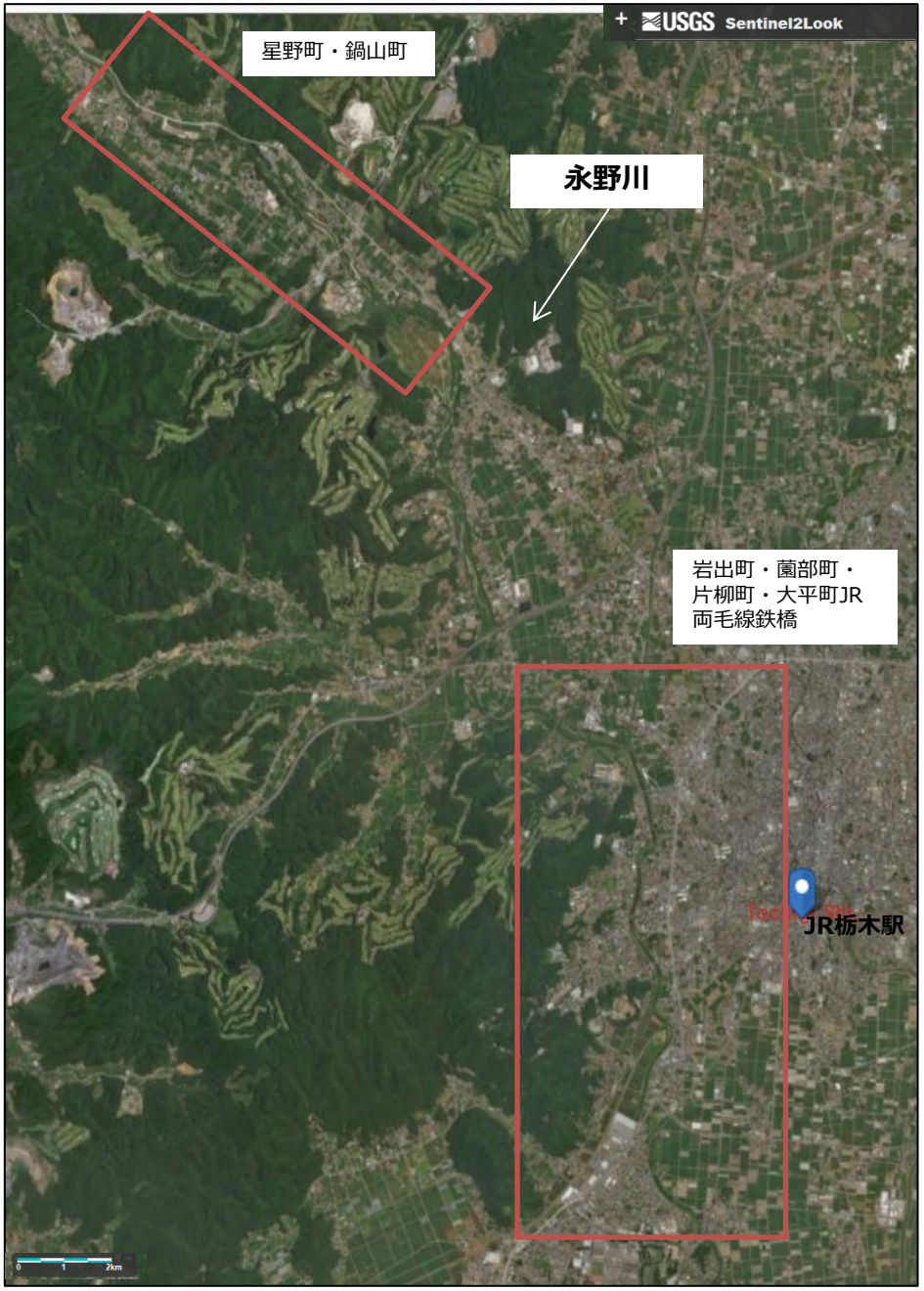


図12　栃木市永野川上流部 - 中流部　出典：Sentinel2衛星画像（USGS）
https://landsatlook.usgs.gov/sentinel2/viewer.html

栃木市・星野町　星野橋上下右岸
（筆者撮影：2019年11月17日11時ころ）

図14（上）図15（下）星野橋上下の右岸。

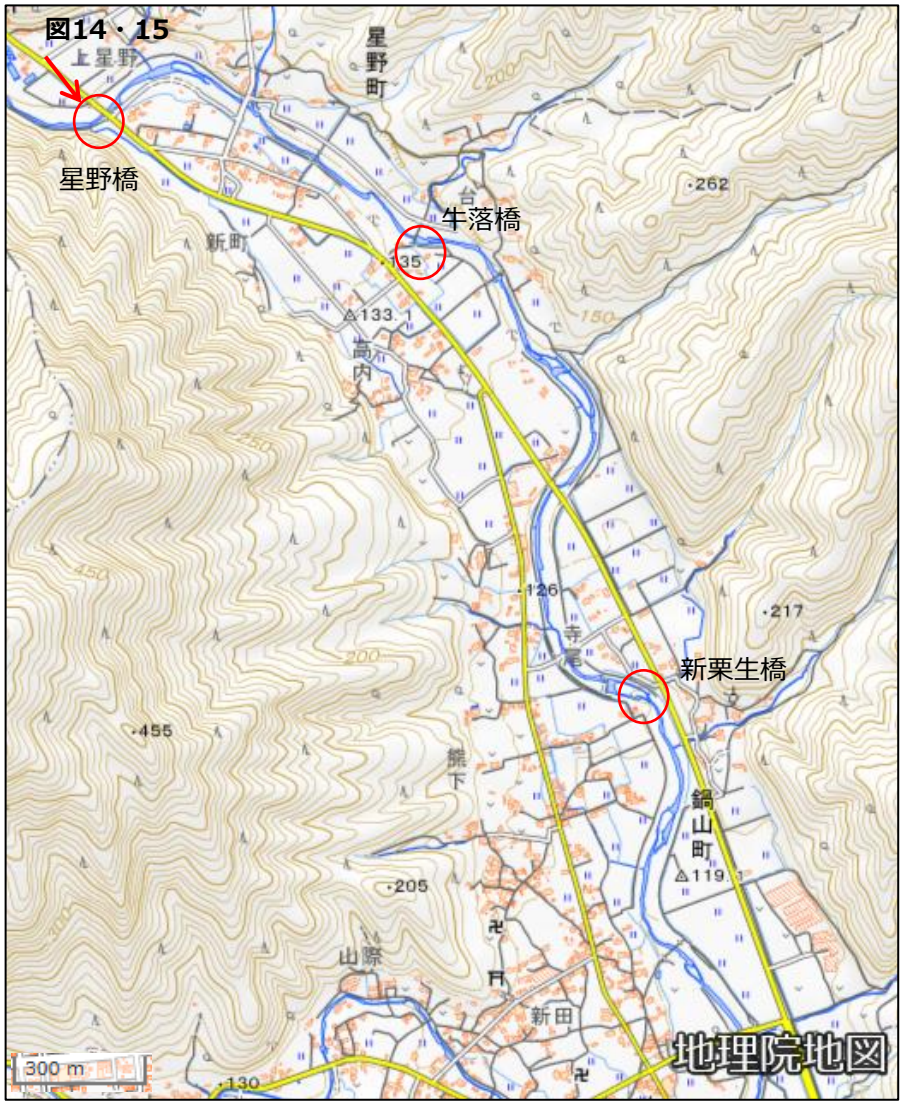
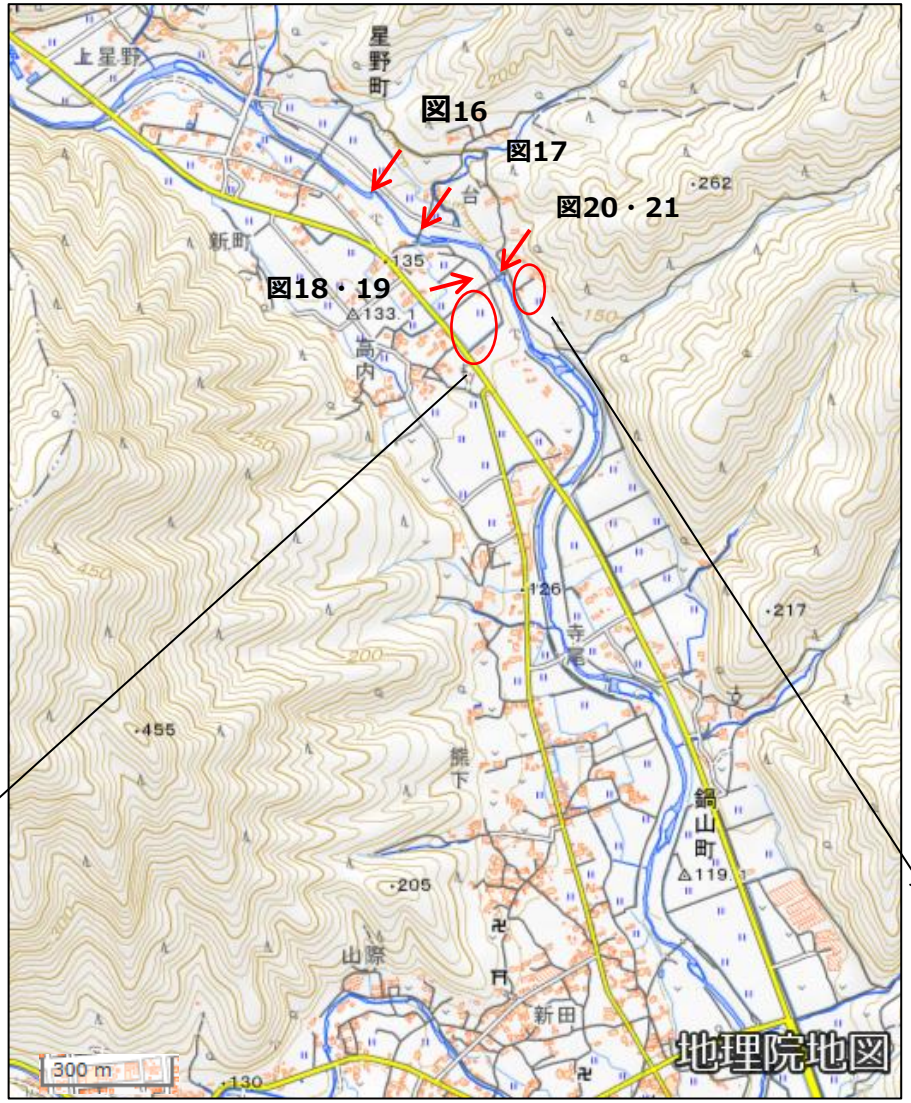


図13　永野川上流部　栃木市・星野町、鍋山町付近・(出典：地理院地図（国土地理院）

○ 決壊箇所

栃木市・星野町、鍋山町付近の永野川（筆者撮影：2019年11月17日11時ころ）

図16 住民の通行用の橋が落ちていた。



出典：地理院地図（国土地理院）

図17 牛落橋の上の橋。インタビューでは、付近の家屋では約70cm浸水した。

図18 牛落橋左岸を対岸から撮影した。

図20 牛落橋左岸。

図19右岸の 水田が土砂と石で埋没していた。

図21 左岸の水田と雑木林に流れ込んだ土砂と粗朶。

栃木市・岩出町、薗部町、片柳町、大平下町・JR両毛線鉄橋付近の永野川

図22　永野川中流部　栃木市・ 岩出町、薗部町、片柳町、JR両毛線鉄橋付近
出典：地理院地図（国土地理院）をもとに作成

図23　栃木市・ 岩出町付近　出典：地理院地図（国土地理院）

図24 岩出町・大砂橋下右岸（筆者撮影：2019年11月17日12時ころ）。

決壊箇所

栃木市・薗部町付近の永野川（筆者撮影：2019年11月5日8時ころ）

図26 堤防の決壊箇所上人橋左岸付近、
薗部町住人へのインタビューによると、12日21時ころには
薗部3丁目付近は床下浸水していた。

出典：地理院地図（国土地理院）

図27 上人橋下左岸、堤防が崩れていた。

栃木市・薗部町3丁目周辺の様相（筆者撮影：2019年11月5日9時ころ）

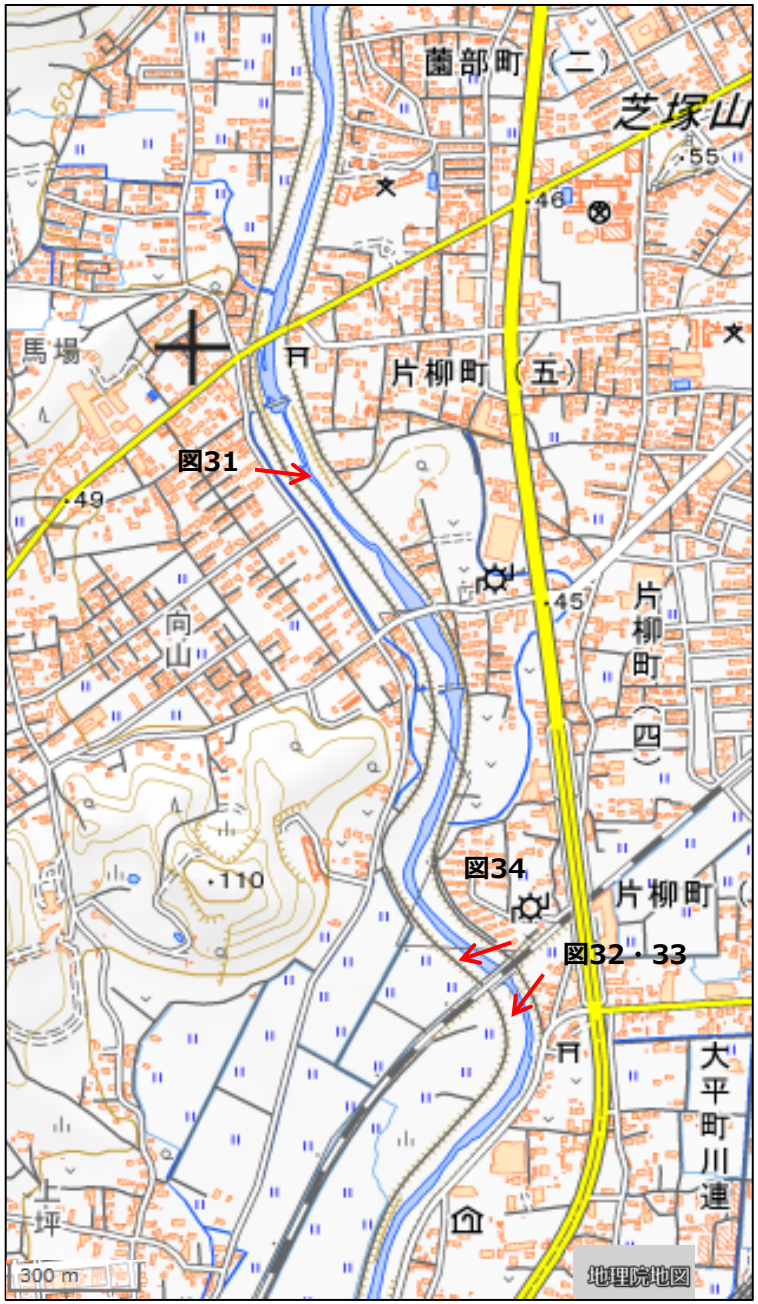
出典：地理院地図（国土地理院）

図28 道路脇に残る土砂。インタビューでは、歩道橋の階段の1段目上まで浸水した。それによる推定では、歩道からの高さ約10cm、堆積した土砂は約3cmである。

図29 歩道に積まれたゴミ

図30 ボランティアによる土砂・ゴミ撤去作業

栃木市・片柳町、大平町・JR両毛線鉄橋付近の永野川（筆者撮影：2019年11月17日13時ころ）



出典：地理院地図（国土地理院）

図31 片柳町 二杉橋下左岸

図32（左上）JR両毛線鉄橋下右岸
図33（右上）・図34（下）
JR両毛線鉄橋上右岸

報告は以上です。最後までご覧くださりありがとうございました。